

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名	天本理恵	職名	准教授	学位	博士 (医学) 九州大学 2012年
----	------	----	-----	----	--------------------

研究分野	研究内容のキーワード
応用栄養学 分野	小児栄養、母性栄養、栄養代謝 (特に葉酸)、生活習慣病 (主に癌、加齢性疾患) とミトコンドリア

研究課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病 (主に癌や加齢性疾患) とエネルギーおよび栄養代謝 (ミトコンドリアを中心に) との関連を形態学、分子生物学的に検討する。また、葉酸とミトコンドリア機能の関連性についても実験、考察する。</li> <li>極低出生体重児の成長、発達と栄養管理等について考察する。</li> <li>幼児と保護者の食生活および生活習慣に関する実態調査を行う。</li> </ol>

担当授業科目
応用栄養学Ⅰ (2年後期 栄養学科) 応用栄養学Ⅱ (3年前期 栄養学科) 総合演習Ⅰ (3年前期 栄養学科) 総合演習Ⅱ (4年前期 栄養学科) 応用栄養学実習 (3年後期 栄養学科) 管理栄養士演習Ⅱ (4年前後期 栄養学科) 臨地実習Ⅰ (3年後期 栄養学科) 卒業ゼミ (4年通年 栄養学科) 栄養学概説 (1年後期 栄養学科) 母子栄養学 (前期 助産別科) 子どもの食と栄養 (3年前後期 福祉学科 担当は前期のみ)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 応用栄養学Ⅰ,Ⅱ、総合演習Ⅱ、栄養学概説 】 <ol style="list-style-type: none"> <li>視覚教材に Power Point を使用して講義を行っている。文字だけのプレゼンテーションは学生の集中力を低下させるので、写真や図を多く取り入れて視覚的に捉え易い教材になるように努力して作成した。</li> <li>1の教材を印刷したプリントと、関連資料を毎回配布し、重要なところをマークさせた。また、Power Point 教材だけでは不十分なところについては、板書にて図式化し、学生に書き取らせることで理解を深めてもらうようにした。板書+スライドで大事なポイントはダブルチェックさせ学生の理解を促した。スライドを印刷したプリントを配布しているが、板書を写すスペースも確保した配布資料の作成を行っている。</li> <li>毎回の講義終了時に、講義内容の小テストを行い、学生に解答してもらった後で、解説して回収し次の講義の時に返却した。この小テストによって学生にその日の講義内容とポイントを復習させた。小テストに書かれた学生からの質問や感想には、1人ずつ全員に必ず答えて返却した。</li> </ol> 以上のことより今後も出来る限り学年の特性に合わせた、かつ重要ポイントを外さない授業計画に配慮する。
授業科目名【 応用栄養学実習 】 毎年度ではあるが、この実習では、管理栄養士として役に立つ知識や技術を身に付けてもらうために、特殊な食品を使用した献立や、日頃家庭では作ることのないライフステージ別の献立を作製させ印象づけるようにした。実習では、学生に献立を調理させる前に示範をし、調理の際の留意点や栄養管理のポイントを説明した。また各ライフステージにおける栄養管理上のポイントを中心にスライドで講義を行い、講義と調理実習をセットで行うことで各ライフステージにおける食生活の違いを視覚的にも聴覚的にも捉えることが出来る講義内容

となるように考えた。今年も書類上の献立作成では不安な料理や製菓に関しては、助手の方たちと一緒に勤務時間外に試作を行うなどして検討した。(この実習は講義時間だけでなくその前後に多くの時間を要してしまう実習であるため、この実習が行えるのは助手の先生方が手伝って下さるおかげだと感謝しています。) 学生にとって有意義かつ実践できる実習になるように今後も改善を行っていく。

**授業科目名【 総合演習Ⅰ、臨地実習Ⅰ 】**  
 総合演習Ⅰは、臨地実習Ⅰ(小学校、事業所、児童福祉施設、高齢者福祉施設における給食の運営に関わる学外実習)と抱き合わせとなる演習であり、実習前の指導や、課題、媒体作成、プレゼンなど、もう一人の担当教員および助手教員とともに演習時間外も含め、指導に尽力した。特に、媒体作成に関しては、演習時間外の多くの時間をさいて、学生個々に合わせた個別指導、助言を行った。この科目に関しては、今後も個別指導を徹底していく。

**授業科目名【 管理栄養士演習Ⅱ 】**  
 管理栄養士演習(国家試験対策)では、毎回項目別に試験問題を作成し、実施した。その問題の解説を行うために、沢山の関連資料を配布し(わかりにくいところや重要項目はポイント集を作成して配布した。)一緒にチェックしていくことで学生の理解を促した。さらにポイントや解説は出来るだけ板書し、何度も学生に書き取らせることで、理解を促した。毎回のテストの正解率を表にしたものを作成し、正解率の低い問題にはアドバイスやポイントを書いて配布して復習させた。また正規の講義時間以外に行う、学科が開設しているブラッシュアップ講座においても、同様の演習を実施し、学生への理解を促すことに努力した。今後も継続してこの講義形式で講義を展開していく。

**授業科目名【 母子栄養学 助産別科 】**  
 視覚教材に Power Point を使用して講義を行った。文字だけのプレゼンテーションは学生の集中力を低下させるので、写真や図を多く取り入れて視覚的に捉え易い教材になるように努力して作成した。母性の栄養補給法に関して、実習先での課題があれば出来る限りのアドバイスを行った。助産別科の学生は食と栄養に関心が深く、熱心であり、私自身も講義、指導がしやすいと感じている。学生たちも、この講義が助産師として活躍していくときに、役に立つと評価しており、今後も将来役に立つと学生に思ってもらえる講義内容にしていきたいと考える。

**授業科目名【 子どもの食と栄養 福祉学科 】**  
 福祉学科においても、視覚教材に Power Point を使用して講義を行った。文字だけのプレゼンテーションは学生の集中力を低下させるので、写真や図を多く取り入れて視覚的に捉え易い教材になるように努力して作成した。PowerPoint 教材だけでは不十分なところについては、板書にて図式化し、学生に書き取らせることで理解を深めてもらうようにした。板書+スライドで大事なポイントはダブルチェックさせ学生の理解を促した。内容は、保育士として知識習得および実践してほしい栄養学・食育を中心に、栄養士との協働に関してもふれた講義にした。栄養学科の講義同様、毎回の講義終了時に、講義内容の小テストを行い、学生に解答してもらった後で、解説して回収し次の講義の時に返却した。この小テストによって学生にその日の講義内容とポイントを復習させた。小テストに書かれた学生からの質問や感想には、1人ずつ全員に必ず答えて返却した。

**授業科目名【 卒業ゼミ 】**  
 福祉学科が開いている極低出生体重児の親子遊びの会『ほほえみの会』にゼミ活動の一環として、学生たちを参加させている。提供する間食の作製やレシピの作成、ほほえみの会の親子を支援するための教育媒体の作成など、試作、訂正を繰り返しながら、学生たちが主体的に動けるようにそのサポートを行った。また福祉や看護の学生たちと共に企画から実施、評価を行うことで、学生たちに自然と協働の精神が育まれていると考える。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等(任期)	加入時期

日本栄養士会 日本栄養改善学会 日本栄養・食糧学会 日本スポーツ栄養学会 日本癌学会 日本分子生物学会	2002年4月～現在に至る 2002年4月～現在に至る 2002年11月～現在に至る 2017年4月～現在に至る 2010年6月～現在に至る 2012年9月～現在に至る
--	---

2018年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				
(その他) 1. 西南女学院大学生のキャンパスニーズに関する調査 【報告】	共	2019.3	西南女学院大学紀要 Vol.23	①正課外における学生の主体的な学びを促進するための環境作りに必要となる基礎データを得ることを目的にアンケート調査を実施し、その調査結果の報告を行った。 ②上村眞生、小田日出子、天本理恵、塚本美紀、高橋幸夫、篠木賢一 ③p. 47-60
				教育研究業績 2018年度分 著書 0 (内訳 単0, 共0) 学術論文 0 (内訳 単0, 共0) 学会発表 0 (内訳 単0, 共0) その他1 (内訳 単0, 共1)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
ミトコンドリア異常と代償的葉酸代謝亢進の分子基盤と予防栄養の探索	文部科学省 科学研究費補助金（基盤C）	○天本理恵 (内海 健)	3,510,000 (2017年4月-2020年3月)

社会人基礎力養成のための「意図的なHidden Curriculum(潜在的カリキュラム)」構築に関する研究	西南女学院大学共同研究費	○上村眞生 小田日出子 塚本美紀 他7名	1,388,000
--	--------------	-------------------------------	-----------

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市食育推進懇話会</li> <li>・北九州市立保育所給食調理業務受託候補者選定検討会構成員（北九州市こども家庭局）</li> <li>・遠賀・中間地区保育士協会研修会</li> <li>・健康・スポーツで北九州をぐっと盛り上げる会（NPO）研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成員（座長）</li> <li>構成員</li> <li>講師</li> <li>講師</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年7月～2019年未定</li> <li>2018年8月</li> <li>2019年3月7日</li> <li>2019年1月28日</li> </ul>

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携室 室員（子ども・子育て支援分野） 2016年8月～現在に至る</li> <li>・学生募集 委員 2014年4月～2019年3月</li> <li>    学外：飯塚高等学校 模擬授業 2019年2月18日</li> <li>・ほほえみの会（主担当 福祉学科 野井 准教授）における栄養相談等の栄養士業務、子どもの遊びの支援 2014年4月～現在に至る</li> <li>・チアリーディング部（ルーンス）顧問⇒同好会 2002年4月～現在に至る（部員0名のため部としては活動休止中）</li> </ul>
---